

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者 /	

起票日	平成 30 年 11 月 1 日	所 属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	57,700 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	9 回	控 雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	600,000 円	除 そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	245,714 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	354,286 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件 名	11/14～11/15 栃木県宇都宮市 第13回全国市議会議長会研究フォーラム 参加旅費
-----	--

摘 要	
-----	--

債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	平成 30 年 11 月 13 日
	住 所			
	名 称	市民トライネット代表者 高橋 登		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債 権 者 番 号	0 - 000004459 - 00	

領 収	住 所	領 収 印	
	氏 名	市民トライネット代表者 高橋 登	

上記の金額を領収しました。平成 30 年 11 月 13 日

支 払 済

平成 30 年 11 月 13 日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確 認


 001 負担行為番号
30-000673

伝票番号

30-011847

整理番号

30-000014-09

呼出番号

00137931



30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成30年 11 月 / 日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民トラスト
代表者名 高橋 燈



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	57,700円		
内 訳	11/14～11/15 栃木県宇都宮市 第13回全国市議会議長会研究フォーラム 参加旅費		
支 払 先	野田 悦子		
予 算 科 目	旅 費	交 付 残 額	354,286円
使 用 者 名	野田 悦子		

(出張)

出張申請書

主管課用

平成30年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民トライネット		氏名	野田 悦子				
出発・帰庁年月日		出発 30年11月14日		帰庁 30年11月15日				
出張先(順路) 宇都宮市文化会館 (栃木県宇都宮市明保野町7-66)								
目的及び用件 第13回全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440
" (大阪メトロ御堂筋線) 新大阪		280						280
" (東海道新幹線) 東京	556.4 665.9	往復割引 8,840	特急料金 (のぞみ) 5,700	(閑散期) △ 200				14,340
" (東北新幹線) 宇都宮	109.5		特急料金 (やまびこ) 2,990	(閑散期) △ 200	1泊 15,000	2日 7,000		24,790
" 復路		9,560	8,690	(閑散期) △ 400				17,850
							計	57,700
右の金額領収いたしました。					金額	¥ 57700		
平成 年 月 日					職名	市民トライネット		
泉大津市会計管理者 殿					氏名	野田 悦子		



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日		平成 年 月 日	
差 出 名		市民トライネット 野田 悦子					
あ て 名		泉大津市議会議長				提出期限	
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付		平成 年 月 日	
件 名		報告書					
議長		副議長		事務局長		次長	
							
主 管	次長補佐	議事調査係長		庶務係長		係員	
							
合 議							
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項							
日 時：平成30年11月14日（水）～平成30年11月15日（木） 出張先：栃木県宇都宮市 宇都宮文化会館 目 的：第13回全国市議会議長会 研究フォーラムに参加							

報 告 書

平成30年12月27日

泉大津市議会議長 殿

市民トライネット

会派代表者 : 高橋 登

出張者 : 野田悦子

下記により出張したので、報告致します。

記

1. 日 時 : 平成30年11月14日(水)～15日(木)
2. 出張先 : 栃木県宇都宮市 宇都宮文化会館
3. 目 的 : 第13回全国市議会議長会 研究フォーラムへの出席

4. 報告内容

今年は昨年に続き全国市議会議長会の研究フォーラムへ、以前の仕事での取引先も多いが訪れるのは初めての宇都宮市での開催との事で街並みも楽しみに参加した。

取り上げられている課題は基調講演が【「地域共生社会」をどうつくるか】であり、市域が狭く、利便性が良いものの、地場産業の疲弊と小規模商店が多く、資源が多いとは言い難い本市にとって、今後どの様に活かせるかという視点で臨んだ。

ただ、研究フォーラムのみで、オプションの視察へは地域の活動の都合で参加できず、残念でした。

会議への参加者は今回も多く、駅前のギョーザ店に囲まれるような広場から、会場へ移動のためのバスもすぐにいっぱいになり、次々と出発する状態でした。



— 会議日程 1日目 —

第一部 : 基調講演 宮本太郎中央大学法学部教授

【「地域共生社会」をどうつくるか 2040年を超える自治体のかたち】

2040年問題とは、日本経済が労働不足経済に突入し、社会保障（年金・医療）給付の増加により破綻するのではといわれていることを指す。

その時、自治体はピンチをチャンスに変えられるか。地域人材を活かし、新しい地域の在り方を考える事が今から必要である。

支えられる（高齢社会）、支える（現役社会）という二分法では重量挙げ社会になるとイメージしやすい説明があり、東京一極集中を漏斗と例えられた。この課題をチャンスととらえた社会構造の変革の必要性を説かれ、特に「社会的弱者を保護する福祉から皆を元気にする包括支援と活躍の場づくり、新しいつながりづくり」を提唱された。

地域共生社会では、包括支援における第二階層（小中学校区単位）で、制度・分野ごとの「支え手」「受け手」という関係を超えた社会参画の仕組みづくりが必要であるとし、富士市・香取市・弘前市のユニバーサル就労、豊中市のくらしかん事業などを紹介。



生涯出番のあるまちづくりを提唱され、年金兼業就労や必要縁（家族縁、地縁、仕事縁）を活かした支え合い・子育て・介護の事例として、鹿児島市の「ナガヤタワー」、金沢市の「シェア金沢」、京都市の「すまい生活支援事業」を紹介。

※定年後の男性：これまでは、地域活動にも忙しく参加できなかったスキルの高い人材は そのまま、参加することなく埋もれていることが多い事を幾人も見てきました。男性の価値観はともすれば、これまでの過去の役職やその後の収入が比較の基になり、周りとは溶け込みにくく、自治会活動やサークルなどでも引かれたり、排除され孤立する傾向が強いのも事実です。しかし、『この地域のお荷物とも言える人たちを、地域資源に出来るかがキーポイント』と私自身が感じていたことを改めて今回言葉で、方法で示されたことは大きな力になりました。

成功事例ともいえる方々もまた多くいらっしゃるのでもっと地域が活性化できると確信出来ました。また、そうしなければ自治体の存続さえ危ぶまれる時代がくるのでしょう。

第二部 : パネルディスカッション 「議会と住民の関係について」

コーディネーター 江藤俊昭(山梨学院大学教授),

パネリスト 今井照(地方自治研研究員)、本田節(ひまわり亭代表取締役)

神田誠司(朝日新聞記者)、小林紀夫(宇都宮市議会議長)

今井照氏からは、規模に関わらず同じ制度で運用される地方自治の課題(無投票、投票率など)と、様々な基本計画の策定義務(義務規定・努力義務規定)により、中央集権的になっているのではないかという指摘があった。

本田節氏からは、食を通じた地域づくりについて興味深い事例紹介があった。本市において、市域の差を何を置き換えて活かせるのかが難しい課題としていただいた気がする。

神田誠司氏からは、議会改革でいかに地域を巻き込んできたか、徳島県神山町のまちづくりを通して示して頂いた。



— 会議日程 2日目 —

第三部 : 課題討議「議会と住民の関係について」

桑田鉄男(久慈市議会議長)、伊藤健太郎(新潟市議会議員)、

ビアンキ アンソニー(犬山市議会議長)、

道法知江(竹原市議会議長)

この3年半、取り組んできた議会改革が中心の討論。

今後に何が活かせるか、本議会で何が足りないのかを検証する機会でもあった。

久慈市議会の事例:「かだって会議」という、議会報告会や公聴会の枠を超えたワークショップ形式による対話集会の開催により、住民と議会の距離を縮める。

新潟市議会の事例:主権者教育プロジェクトを企画され中学・高校での主権者教育を議会として行っており、プログラムでは課題を設定し、ロールプレイングを通じて合意形成を図る議会プロセスを学んでいる。

犬山市議会では、女性議会や定例会で市民に発言してもらう「市民フリースピーチ」を実施。また、全員協議会で議案や一般質問について議員間討議を行っている。

※「かだって会議」は市民と議会が協働する場とお聞きして、本議会で取り組みたくて取り組めてこなかった課題の一つの形を示して頂いたと感じましたし、主権者教育についても、もっと踏み込んで取り組みたい課題、いちにち女性議員の「市民フリースピーチ」は3ヶ月かけて一般質問や質疑応答などを学んでいただくなど時間も気持ちも入った取り組みであると思いました。ただ、同じ方が手を挙げられるのではないのかなど、もっと深くお聞きしたい内容でした。まだまだ、改革の余地、幅は大きい！

ー 毎回、大きな気づきと課題を与えていただく研修に参加していますが、自身に取り組んでいることや、日々問題視していることなどについては、より集中して受け止められます。

今回の資料もドッグイヤーがたくさんの資料となり、是非実現に向けて活用したい、今後を活かしていきたいと強く思いました。

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		**	**			**		

起票日	平成 30 年 11 月 8 日	所 属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	7,000 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	10 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円		そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	252,714 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	347,286 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名	研究研修費 11/14~11/15 栃木県宇都宮市 第13回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金
----	--

摘要	
----	--

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年11月21日
	住 所			
	名 称	市民トライネット代表者 高橋 登		
	役職等/ 氏名			
	銀行 / 口座			
	口座名義人	債権者番号	0 - 000004459 - 00	

領収	住 所		領収印	
	氏 名	市民トライネット代表者 高橋 登		

上記の金額を領収しました。

支払済

平成30年11月21日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認




001
007

負担行為番号
30-000673

伝票番号

30-012470

整理番号

30-000014-10

呼出番号

00139823



30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

30.11. 9

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成30年11月8日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民トライネット
代表者名 高橋 登 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	7,000円		
内 訳	11/14～11/15 栃木県宇都宮市 第13回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金		
支 払 先	(株)JTB		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	347,286円
使 用 者 名	野田 悦子		



開催概要

日 時	第1日目：平成30年11月14日(水) 13時00分開会（開場・受付12：00） 第2日目：平成30年11月15日(木) 9時00分開会（開場8：30）
場 所	宇都宮市文化会館 栃木県宇都宮市明保野町7-66 [意見交換会場：宇都宮グランドホテル 栃木県宇都宮市西原町142] ※会場等へのアクセスについては、P.5「会場へのアクセス」をご参照ください。
主 催	全国市議会議長会
後 援	総務省（予定）
プログラム内容	第1日目（11/14） 第1部 基調講演 「共生社会と地方自治体（仮）」 宮本 太郎 中央大学法学部教授 第2部 パネルディスカッション 「議会と住民の関係について（仮）」 コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授 パネリスト 今井 照 公益財団法人地方自治総合研究所主任研究員 本田 節 有限会社ひまわり亭代表取締役 食・農・人総合研究所リュウキンカの郷主宰 神田 誠司 朝日新聞大阪本社地域報道部記者 小林 紀夫 宇都宮市議会議長 第3部 意見交換会 第2日目（11/15） 第4部 課題討議 「議会と住民の関係について（仮）」 コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授 事例報告者 4市（予定） 第5部 視察
定 員	2,200名 ※定員2,200名で、申込み時に優先参加を選択した議長につきましてはメイン会場（大ホール）での参加当選が決定となります。なお、それ以外の申込者については、抽選の結果に基づきます。 ※抽選によるメイン会場（大ホール）の参加者が満員になり次第、抽選の結果に基づき中継会場（小ホール）での参加となります。 ※議会事務局職員の申込みにつきましては、各市区につき1名を限度とさせていただきます。 ※満員となりましたら、キャンセル待ちでの受付となりますのでご了承ください。 ※詳細は、P.8～9「参加申込みのご案内」をご参照ください。
参加費	1人7,000円

(いずれか一方を選択する) ☒ 振込金受取書 (兼振込手数料受取書)
☐ 預金払戻請求書による振込受付書

振込手数料	領収済			円
	未領収 (一括領収扱)			

(消費税込み)

このお振込を翌営業日にお手続させていただく場合、処理日欄に○を記入しています。

お振込先	池田泉州銀行	漢字で左づめにてご記入ください。	○をおつけください。	漢字で左づめにてご記入ください。	支店
	預金種目	口座番号	お振込金額	¥マークも1文字として枠内にご記入ください。	
お受取人	おなまえ	株式会社 JTB	フリガナ	カ) シ" イイ テイ- ヒ" -	
ご依頼人	おなまえ	0037 野田 悦子	フリガナ	0037 / タ" イツコ	
	おでんわ	0725331131			
	おところ	泉州市 東雲町 9-12			

(ご注意)

- このお振込は「振込規定」によりお取扱いたします。(裏面ご参照)
- 振込先銀行へは受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。受取人名等はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等不備のあった場合には、照会等のため振込が遅延することがあります。
- 午後2時以降のご用命の場合は、当日中に入金できないこともございますので、

あらかじめご了承ください。(このお振込のご用命時刻 ……)

- やむを得ない事由による通信機器・回線の障害等によって振込が遅延することであっても当行は責任を負いません。
- この振込金受取書または振込受付書は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- この振込金受取書または振込受付書は、お預りした振込金が「現金」または当座小切手等の「有価証券」の場合は「振込金受取書」として、それ以外(預金払戻請求書や預金口座振替等)の場合は「振込受付書」として使用しています。

当行をご利用いただきましてありがとうございます。
 今後ともよろしくお願い申し上げます。

株式会社 池田泉州銀行

